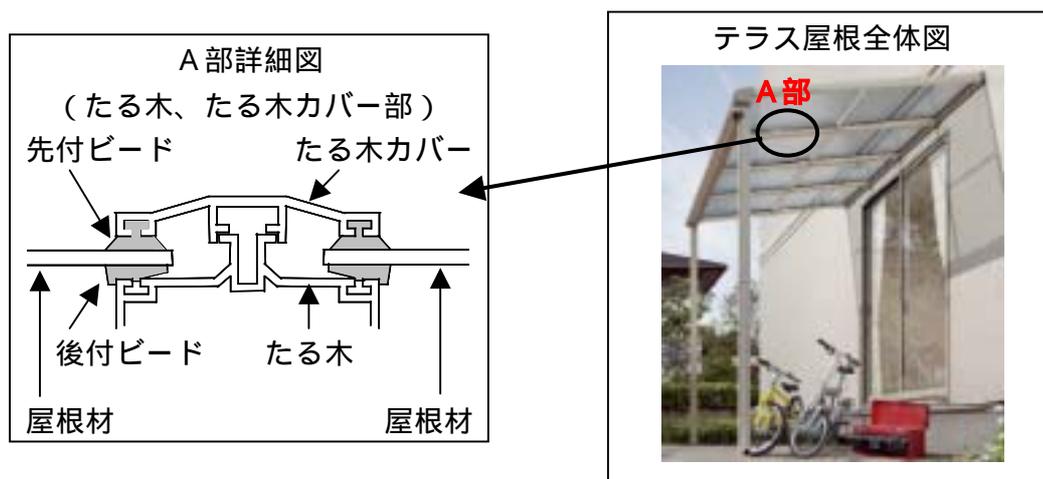


## 14．樹脂屋根材の音なりについて

太陽光があたるとアルミ形材と樹脂屋根材の温度が上昇し膨張します。アルミと樹脂で膨張率に違いがあり、樹脂の膨張率はアルミの約3倍になります。

屋根材をねじなどで固定した場合、膨張した屋根材が金属のねじを押しこむことになり、その力で屋根材がひび割れを起こしてしまいます。

従って、屋根材の割れを防止するため、樹脂屋根材の固定方法は下図のようにたる木、たる木カバー（アルミ形材）と先付ビード、後付ビード（タイト材）にはさまれた押え方式になっています。そのため膨張率の差から接触面で摩擦が起こり、音が発生します。



温度が下降し収縮した場合も同様に音が発生することがあります。

このように膨張、収縮により音が発生しますが、自然現象であり性能上問題ありません。

音は表面温度が急激に変化する場合に発生し、温度変化が治まると膨張が止まり、音は発生しません。